

平成28年第5回大田原市教育委員会定例会 会議録

開催日時		平成28年5月17日(火) 午後1時30分			
開催場所		湯津上庁舎 102会議室			
会議出席状況	教育長	植竹福二	出席		
	委員	日原悠子	出席	深澤道昭	出席
		川上聖子	欠席	小林朋子	欠席
		車田宏之	出席		
	事務局職員	教育部長	益子正幸	生涯学習課長兼中央公民館長	渡邊小百合
		教育総務課長	大森忠夫	文化振興課長	長谷川操
		学校教育課長	月井祐二	スポーツ振興課長	相馬天子
書記	教育総務課	遠藤久子・渡邊政典			
付議事項	○ 報告1件 [報告第 号～第 1号] ○ 協議 件 [協議第 号～第 号] ○ 議案2件 [議案第 17号～第 18号]				

1 開 会 午後1時30分

2 前回会議録の承認

3 議 事

日程第1 議案第17号 大田原市外国人留学生奨学金支給条例に基づく奨学生の決定について

日程第2 議案第18号 平成28年度教育委員会関係補正予算について

日程第3 報告第 1号 公益財団法人那須野が原文化振興財団の経営状況について

4 そ の 他

5 閉 会 午後2時25分

6 傍 聴 人 0名

7 会議の要旨 次のとおり

平成28年第5回大田原市教育委員会定例会発言要旨

平成28年5月17日（火）午後1時30分から

○教育長（植竹福二君） ただいまから平成28年第5回大田原市教育委員会定例会の会議を開きます。

○教育長（植竹福二君） 前回会議録は、書記をもって調製させましたので、順次回覧いたします。内容をご確認いただきたいと思います。

（会議録順次回覧）

○教育長（植竹福二君） 会議録の内容についてご確認いただきましたが、前回会議録につきましてご承認いただけますか。

（異議なしの声あり）

○教育長（植竹福二君） 異議はないようでありますので、前回の会議録は承認されました。
委員会閉会后、ただいまの会議録に署名をお願いいたします。

○教育長（植竹福二君） 本日付議いたします案件は、議案2件、報告1件であります。
それでは日程に従い会議に入ります。
日程第1 議案第17号 大田原市外国人留学生奨学金支給条例に基づく奨学生の決定についてを議題といたします。

詳細について、教育総務課長から説明をお願いします。

○教育総務課長（大森忠夫君） （説明を行う）

○教育長（植竹福二君） 説明が終わりましたので、質疑を行います。

（質疑を行う）

○教育長（植竹福二君） ほかに質疑はないようでありますので、質疑を終わります。
お諮りいたします。
議案第17号 大田原市外国人留学生奨学金支給条例に基づく奨学生の決定につきましては、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

- 教育長（植竹福二君） ご異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。
- 次に、日程第2 議案第18号 平成28年度教育委員会関係補正予算についてを議題といたします。
- 詳細について、各課長から説明をお願いします。
- 教育総務課長（大森忠夫君） （説明を行う）
- 学校教育課長（月井祐二君） （説明を行う）
- 生涯学習課長（渡邊小百合君） （説明を行う）
- スポーツ振興課長（相馬天子君） （説明を行う）
- 教育長（植竹福二君） 説明が終わりましたので、質疑を行います。
- 委員（車田宏之君） 3ページのエネルギー教育推進事業補助金についてです。この補助金は自然エネルギー実験器具歳出に充てられることですが、原子力エネルギーの実験ということでしょうか。
- 学校教育課長（月井祐二君） このお金の出所は文部科学省の原子力エネルギーに関する教育支援事業交付金として、例えば理科の実験で使う実験器具のようなものを買う目的であり、原子力エネルギー全般の実験器具の購入に充てる交付金となっています。
- 委員（車田宏之君） 国や県からの補助金を受けているのはエネルギー教育推進事業補助金と発達障害に関するものだけなのでしょうか。
- 学校教育課長（月井祐二君） 菊作り以外の事業は全て国や県の補助金でございます。特に国からの補助金に関しましては、こちらから申し込みをしても最終決定されるのが3月頃となってしまったため、今年度の予算の中に組み込むことができません。予算の内示がなされた段階で市の歳入となり、それに対応した歳出の項目を追加して作っていくことになるため、このように補正予算という形になってしまっています。
- 委員（車田宏之君） そうしますと、小中一貫教育推進事業委託金は国や県からの補助金ということでしょうか。
- 学校教育課長（月井祐二君） 小中一貫教育推進事業委託金は栃木県からのもので、大田原市が手を挙げたことで指定を受けることが決まりました。これは国や県からのお金を多くもらい活用する津久井市長の意向でもあります。
- 委員（車田宏之君） その補助を受けることによって、補助を受けなかった地域よりも早く小中一貫教育を導入しなくてはいけない義務が生じたりするのでしょうか。例えばその小中一貫教育を実行してみた結果、問題が発生し小中一貫教育を中止したくても、補助金を受けたからには何があっても小中一貫教育を進めなくてはならない状況になったりするのでしょうか。

○学校教育課長（月井祐二君）

補助金の目的が小中一貫教育についての研究推進の委託であるため、そのような義務が生じることはありません。

○委員（車田宏之君）

それであれば、デメリットを報告することにも意味があるのですね。

○学校教育課長（月井祐二君）

小中一貫教育について研究を重ね問題などを明らかにしていくことが求められているので、受けた補助金の利用によってその教育の先進地に視察へ行くことや、講師を呼んで研修を行うことなどが期待できます。より深く広い研究が可能となる、と考えております。

○教育長（植竹福二君）

ほかに質疑はないようでありますので、質疑を終わります。

お諮りいたします。

議案第18号 平成28年度教育委員会関係補正予算につきましては、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

○教育長（植竹福二君）

ご異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。

次に、日程第3 報告第1号 公益財団法人那須野が原文化振興財団の経営状況についてを議題といたします。

詳細について、文化振興課長から説明をお願いします。

○文化振興課長（長谷川操君）

（説明を行う）

○教育長（植竹福二君）

説明が終わりましたので、質疑を行います。

○委員（深澤道昭君）

提出議案の19ページにあります(2)芸術文化に関する情報収集及び広報に関する事業についてですが、そこに記載されている「日頃より疑問としている問題点」とはどういったことでしょうか。

○文化振興課長（長谷川 操君）

今は手元にある資料のみのレベルでしか内容を把握しておりませんので、詳細については確認を取ったうえ、次回報告させていただく形でもよろしいでしょうか。

○教育長（植竹福二君）

それでは、次回報告願います。

○委員（車田宏之君）

提出議案の16ページと17ページにおいて、総収入に比べて総支出が大分多いように見えます。これは実施した事業結果により赤字になったということでしょうか。それと入場料をもらっていながら赤字ということは、出演者や会場にかかる費用がそれを上回っているからでしょうか。

○文化振興課長（長谷川 操君）

収入は主に入場料から賄っておりまして、差額はハーモニーホールを大田原市と那須塩原市で共同で運営しているために自主事業の負担金として両市から別途支出しており、提出議案34ページの詳細に受取負担金が5,000万円とありますが、こちらが両市から充てられている負担金となります。

○委員（車田宏之君）

提出議案17ページにも記載がある鷺谷修さんのリサイタルに実際に足を運び、入場料を1000円で見てきました。非常に入場料が安価に感じたのですが、出演者に支払った金額はどちらでわかるのでしょうか。提出議案34ページの謝礼金の枠では少ないように見受けられますが、出演料などはどちらでわかりますか。

○文化振興課長（長谷川 操君）

提出議案34ページにおける事業展開では、出演料を事業者に委託してセットでお支払するケースがほとんどでありまして、委託料約1億円の中に大半は含まれているものと思われます。

○委員（車田宏之君）

提出議案16、17ページに総支出が「0」である項目がいくつかありますが、そのような事業はこちらから全くお金を出していないということでしょうか。

○文化振興課長（長谷川 操君）

実際には支出が収入と相殺されて「0」になっているものと思いますが、詳細は正確な確認を取った後、追って報告させていただきます。

○委員（車田宏之君）

収入に比べ支出が多いために補助を多く出している現状ですが、スポーツ施設においても同様に管理費が上回っています。そのような中、運動選手はその税金の恩恵を公共施設で多く受けています。一方文化においても、市からの補填により安価で音楽に触れられることができます。

○委員（車田宏之君）

しかし私が足を運んだリサイタルでは若い世代、学生が少なかったように感じました。もっと学校の先生などに周知してもらおうなどして、それも全員に周知するのではなく、その個人の趣向に合わせて教えてあげたりするとより良いのではないのでしょうか。学生がもっと増えてくれれば良いと思います。

○文化振興課長（長谷川 操君）

ご提言ありがとうございます。委員のご提案を財団でも取り組めるよう、こちらからも進言していきたいと思っております。

○教育長（植竹福二君）

栃木放送でのPRではまだ足りないのかもしれませんが。

○委員（車田宏之君）

実際に私は昔、学校の先生に教わってイベントに行ったことがあります。低料金で音楽を楽しめるので、もっと子供たちに聞かせてあげたいです。

○教育長（植竹福二君）

ほかに質疑はないようでありますので、質疑を終わります。

お諮りいたします。

報告第1号 公益財団法人那須野が原文化振興財団の経営状況につきましては、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

○教育長（植竹福二君）

ご異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり承認されました。

以上をもちまして、本日予定されました案件はすべて議了いたしました。

なお、その他で何かございますか。

○委員（深澤道昭君）

小中学校再編についてですが、湯津上地区の区長会の会合で、7月22日の市政懇談会の質問事項について打合せを行いました。その中で小中再編について、質問してはどうかという話になりました。説明会の時期や、再編のスピードなど、市の方針を区長会に事前に説明しておかないと、意見の食い違いや、噂だけが先行しそうなのですが、現在の進捗状況はどうなっておりますか。

○教育総務課長（大森忠夫君）

教育総務課に小中学校再編担当がおりまして説明を行っています。平成26年度に答申が出まして、その後答申の中に盛り込まれている小中学校のPTA役員をはじめとする保護者の方々に説明会を実施しました。平成27年度には優先的に西原小の通学区域の見直しを実施してまいりました。そして昨年 of 年末には親園中と佐久山中の再編が動き出しました。その中でまず佐久山中の保護者のアンケート調査に着手しました。今年平成28年度は再編の相手方にあたる親園中の保護者に説明会とアンケート調査を実施していく予定となっております。

深澤委員が先ほど仰ったような湯津上地区の3つの小学校については、今年度に入り、学校に説明に行ったところであり、今後は保護者等の説明会を実施していく予定であります。また、アンケートで意見を募った後に、各地区の住民の方々への説明会を開催する予定であります。まだ、具体的に自治会の方に入っていく段階まで至っておらず、区長さんへも具体的な説明まで至っていない状況であります。

- 委員（深澤道昭君） 7月の市政懇談会までに、地域の方々には説明できませんか。
- 教育総務課長（大森忠夫君） そのとおりであります。
- 委員（深澤道昭君） 去年の市政懇談会にも話は出まして、その際には全容はわからないとしかお伝えできませんでした。日程的なものがしっかり説明できれば、次の段階へ行くのかなと思います。
- 教育総務課長（大森忠夫君） まだ具体的に地元に入るまでには、保護者の方々の意見集約が先となりますので、順序としては、そのあとになってしまうと思われま。
- 委員（日原悠子君） 中学の再編であるため中学校の保護者をまず対象に話を聞くのはわかりますが、現実には小学校の4、5、6年の親御さんが対象になってくると思いますので、中学校の保護者からの意見を受け取るのも大事だとは思いますが、小学校の保護者へも、例えば佐久山の市政懇談会にも話題として出ていますが、自分の子供がどこへ行くかが不安であるのが現状です。例えば福原小と佐久山小の保護者や、せめて役員だけでも、事前に中学校についてのアンケートを取った方が良いのではないのでしょうか。
- 教育総務課長（大森忠夫君） 日原委員がおっしゃったような小学校の説明会についてですが、6月に福原小と佐久山小の保護者に対して再度中学校の統合について説明会を行った後、アンケート調査の実施予定となっています。先日PTA会長と打ち合わせをしております。佐久山小と福原小の校長教頭ともお話ししました。現在は協議しながら説明会の日にちを調整しており、6月中旬までには説明会を実施して、その後中学校の統合についてのアンケート調査を実施していく予定となっております。
- 委員（深澤道昭君） 少しスピードを上げてやった方がいいのかな、と思います。思惑が広がってしまい、打ち合わせがしづらい環境が出来あがってしまうかもしれません。できるだけ話を地域レベルに落とすまでスピードを上げてやっていただきたいです。
- 教育長（植竹福二君） まさに統合する地域では話題になっております。教育委員会で話していないことまで出回っておりますので、慎重な中にもスピード感を持って対応していきたいと思っております。

○委員（日原悠子君） 佐久山でも市政懇談会の際に「統合はいつなんでしょうか」という質問がいきなり出ました。佐久山の住民は統合ありきなのかと感じました。人数の問題で部活ができないなど親御さんとしては中学の部活にとっても心配していらっしゃいます。ある程度スピード感を持った方が良いのではないかと思います。

○委員（深澤道昭君） 話をまだ聞いていない地域住民で統合は良くない、という方向に話が進んでしまう恐れもありますので、もう少しスピードを速めてほしいと思います。

○教育長（植竹福二君） 事務局で何かありますか。

（事務局）

○教育長（植竹福二君） ほかにないようでありますので、以上をもちまして平成28年第5回大田原市教育委員会定例会の会議を閉会いたします。
ご苦労様でした。

この会議録は、平成28年5月25日に調製されたものであるが、その内容に相違ないことを認め、ここに署名する。

平成28年6月3日

委員

委員

委員

委員

委員

調製者